

05 富士通(株) ▶ “オール近大” 川俣町復興支援プロジェクト (近畿大学・福島県川俣町)

東日本震災復興プロジェクト「施設園芸による産業復興支援」

福島県川俣町に、300坪のトマトなどを栽培試験できる施設を建設。

環境データとネットカメラ画像データを富士通(株)の農業生産管理クラウドシステム「Akisai」経由でAndroidタブレットにてリアルタイム観測する遠隔栽培支援システムを構築。

背景

- 福島県川俣町は福島第一原子力発電所事故の影響を受けて、町の一部が計画的避難区域に指定された。除染作業が進み現在は指定も解除されたが、農業においては除染・風評被害の解決等、さまざまな課題がある。
- 近畿大学は“オール近大”川俣町復興支援プロジェクトとして、町民の意見を取り入れつつ教員から提案された復興支援策を実行している。「産業振興」をプロジェクトの一つのテーマに小島地区にビニルハウスを設置して、町の特産品になり得る農作物の試験栽培を開始。

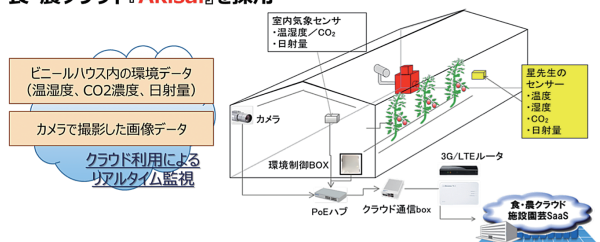
概要

近畿大学との震災復興プロジェクト

近畿大学 震災復興プロジェクト

近畿大学の東日本震災復興プロジェクトとして福島県川俣町に300坪のビニルハウスを建ててトマトなどを栽培試験できる施設を建設(施設園芸を通じた産業復興)

近畿大学と富士通 事業部との連携によるアプローチにて、食・農クラウド「Akisai」を採用



アピールポイント

<震災復興プロジェクト事例>

私立大学初の施設園芸による産業復興支援事例



本システムを活用し、近畿大学が大阪府のキャンパスからアンズリウムの栽培を指導。2015年、出荷できるサイズまで成長した。

現地で栽培を行っているアンズリウム。



“オール近大”川俣町復興支援プロジェクト <http://www.kindai.ac.jp/rd/social-activity/earthquake-east-japan/all-kindai.html>



Key Person

●近畿大学 生物理工学部 星 岳彦教授

野菜・花卉を中心とした生産作物、環境制御(環境調節)システム、養液(水耕)栽培技術、光照射技術、生産情報システム等、温室/ハウス/植物工場などの施設園芸生産を研究した。

●川俣町 古川道郎町長

平成14年11月町長就任(現在4期目)。福島第一原発事故による町民の放射性物質による健康への影響を最小限に抑えるべく、平成23年6月に近畿大学へ「震災復興アドバイザー」の委嘱を依頼。大学との信頼関係構築に尽力して川俣町における近畿大学の研究調査の土壌を構築した。

●富士通(株) ソーシャルイノベーションビジネス統括部

渡邊勝吉氏

事業開発を担当した。



星 岳彦教授



古川道郎町長



温室・ハウス・植物工場のイメージ

富士通株式会社 <http://www.fujitsu.com/jp/>

Tel.0120-933-200 富士通コンタクトライン(総合窓口)

受付時間9:00~17:30(土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)